

2023年6月20日

関係各位

北里大学保健衛生専門学院
学院長 渡辺 しき子

2022年度「学校関係者評価会議」評価結果について

北里大学保健衛生専門学院学校評価規程（以下「規程」という。）第9条（学校関係者評価）に基づき、2022年度の学校関係者評価会議を開催いたしました。その結果について、規程第14条（学校関係者評価の評価結果）に基づき、別添のとおり、報告書を作成しましたのでご確認ください。

この報告書は規程第17条（学校関係者評価結果の公表）の規定により、本学院ホームページで公開し、社会に広く公表します。

また、学校関係者評価会議構成員の皆様には、公私ともにご多忙のところ、数多くの貴重なご意見、ご助言を賜り深謝いたします。本学院では本評価結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めて参ります。

記

1 学校関係者評価会議の概要

日 時 2023年6月1日（木） 午後5時～午後7時

場 所 北里大学保健衛生専門学院 1号館1階 会議室

議 題

（1）2022年度項目別自己評価について

- 1) 学校の教育目標
- 2) 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
- 3) 評価項目の達成及び取り組み状況

◇評価基礎資料

- 1) 2022年度事業業績
- 2) 各学科・専攻科の自己点検・評価
- 3) 財務状況に関する資料

◇参考資料

- 1) 2022年度事業報告
- 2) 北里大学保健衛生専門学院学校評価規程
- 3) 学校関係者評価会議構成員一覧

（2）学生募集停止について

2 会議構成員：

区分	所属等
地域自治体職員 1人	南魚沼市総務部企画政策課長
地域住民 1人	北里アパート副組合長
卒業生 1人	北里大学保健衛生専門学院同窓会長
保護者 1人	北里大学保健衛生専門学院 PPA 会長
高等学校関係者 1人	新潟県立小出高等学校長
実習施設又は就職先企業等の関係者 1人	魚沼市立小出病院事務部長

※任期：2022年4月1日～2024年3月31日

3 評価結果：

2022年度 項目別自己点検表（北里大学保健衛生専門学院）専修学校における学校評価ガイドライン様式：学校関係者評価会議での「④意見・助言（学校関係者評価）」のとおり。

以上

2022年度 項目別自己評価表（北里大学保健衛生専門学院）
〔専修学校における学校評価ガイドライン様式〕

1. 学校の教育目標

北里大学保健衛生専門学院は、北里大学建学の精神及び生命科学領域の教育研究に則り、臨床検査技師、管理栄養士、看護師、保健師、臨床工学技士に関する専門教育を行い、必要な知識技術を教授するとともに、豊かな教養と人格を育み、科学技術の発達と文化の向上並びに地域の健康と福祉の増進に寄与する人材を育成する。

【臨床検査技師養成科】

臨床検査技師養成科は、医学検査を实践できる十分な基礎的知識と技術を修得し、各種現場での高度な内容に対応できる能力を養うとともに、医療人の一員としての人格、倫理観、使命感を持ち、他の医療職種の人たちとチームを組み活躍できる人材を養成する。

【管理栄養科】

管理栄養科は、豊かな人間性をそなえ、疾病の予防、回復、医療・福祉等に貢献でき、QOLの向上を目指して栄養の評価・判定に基づく的確な栄養補給、栄養教育、他領域との連携ができる管理栄養士の養成を目的とする。そのための教育研究上の目的は、①管理栄養士の資格を取得するために必要な知識・技能の習得、②栄養に関わる職業人としての倫理観の習得、③チーム医療の一員として必要な栄養管理や栄養指導等実践力の習得、④地域の特性を理解し、地域に貢献できる力を培うこととする。

【保健看護科】

保健看護科は、学祖北里柴三郎博士が一生を通じて顕現した生命の尊重と人間愛を基礎とする建学の精神に基づき、看護を志す人々がより豊かな知性と感性を追求し、個人及び集団に対し、それを取りまく環境を含めて総合的に働きかけ、人々のよりよい健康を実現することに貢献できる、看護師、保健師を養成する。

【臨床工学専攻科】

臨床工学専攻科は、医療機器が多様化する現場において、その変化に対応できる応用が可能な基礎知識を取得し、適切な判断ができる能力を養うとともに、医療人の一員として、患者さまに安心感を与えることのできる人格・倫理観・使命感を持ち、他の医療職種の人たちと協同してチーム医療の現場で活躍できる人材を養成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 志願者・入学者確保と入学定員厳守への取組

【達成目標】

- ・志願者 入学定員比2.0倍以上
- ・入学者 入学定員超過率1.0倍以上1.1倍未満
- ・在学者 収容定員超過率1.0倍以上1.25倍未満

- (2) 国家試験合格率向上への取組

【達成目標】 合格率100%

- (3) 就職率向上への取組

【達成目標】 就職率100%

- (4) 教育の質の向上に向けた取組

【取組課題】 新潟キャンパスポータルサイト構築による教育環境の整備及びオンライン教育の向上と利活用への取組

- (5) 学校運営に関する取組

【取組課題】 保健衛生専門学院閉校に向けての円滑な運営

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)		4 3 2 1
評価理由	目的、育成人材像は明確化されている。学科における教育目的、育成人材像も明確である。理念については、学校法人及び大学の理念に準じている。	
・学校における職業教育の特色は明確か		4 3 2 1
評価理由	全学科とも医療系国家資格取得を目指す学科であり、明確である。	
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		4 3 2 1
評価理由	2024年4月開設を目途に北里大学健康科学部（仮称）の設置計画を推進している。新たな学部では高度な医療現場でチーム医療を支え、また地域医療を展開できる人材の養成を目的としている。	
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか		4 3 2 1
評価理由	目的・育成人材像・特色の学生へ周知は学生便覧、シラバス、日々の指導で十分にできている。保護者等への周知については改善の余地があるが、現状は学院のホームページで公表している。	
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		4 3 2 1
評価理由	各学科の指定規則は原則として各医療職種のニーズを踏まえて構成されており、基本的には業界のニーズとの方向性は一致している。	

①課題

学院の理念等の保護者への周知については未だ十分とは言えず、継続して実施する必要がある。

②今後の改善方策

保護者への周知について、PPA総会（保護者と学院教職員組織）等での情報提供やパンフレット・ホームページにより積極的に周知する。

③特記事項

④意見・助言（学校関係者評価）

特になし

(2) 学校運営

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか		4 3 2 1
評価理由	毎年度理事会が示す総合事業計画が「運営方針」と考える。総合事業計画は法人の理念・目的に基づくものであるため、適切に策定されていると判断する。	
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか		4 3 2 1
評価理由	上掲している事業計画4件のうち、「入学者確保」「国家試験合格率100%達成」「就職率100%達成」は法人の総合事業計画に基づく法人共有事項であるため、運営方針に合致している。	
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		4 3 2 1
評価理由	法人全体、学院ともに規程に則って決定がされており、有効に機能している。	
・人事、給与に関する規程等は整備されているか		4 3 2 1
評価理由	適切に整備されている。	
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		4 3 2 1
評価理由	適切に整備されている。	
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		4 3 2 1
評価理由	規程、体制ともに整備されている。	
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか		4 3 2 1
評価理由	2019年度から大学等における修学の支援に関する法律への対応により適切に行っている。学校関係者評価結果についても公表している。	
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか		4 3 2 1
評価理由	決裁、財務、就労、教務、入試など各業務においてシステムが導入されている。また、2021年度から2年計画で教育環境の向上とオンライン化の促進を目的とした学生・教職員ポータルサイトを構築し教育の情報化と業務の効率化を図った。	

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

2024年度より臨床検査技師養成科、管理栄養科、保健看護科、2027年度より臨床工学専攻科の学生募集を停止することとなった。在学生及び2023年度新入生には、日々の講義や実験実習、国家試験対策及び進路・就職支援等に支障なく卒業まで安心して学生生活を送れるよう教員の指導体制を極力維持し、学生の修学環境を損なわないよう整備することを2022年度から2026年度までの5年間の事業計画として掲げた。

④意見・助言（学校関係者評価）

◇在校生（専門学校生）が卒業するまで、これまで通り教育環境を維持し、学生生活や国家試験対策、進路・就職支援等に鋭意尽力され、大学設置後は入学する大学生と差別なく充実した学生生活を送れるようお願いしたい。

(3) 教育活動

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		4	3	2	1
評価理由	各学科ともに教育理念、養成する人材層に沿った教育課程となっている。				
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		4	3	2	1
評価理由	各学科ともに定められた指定規則に合致した教育課程であり、到達レベルや必要な時間数・単位数は確保されている。また、卒業認定方針（ディプロマポリシー）も明確に定めている。				
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		4	3	2	1
評価理由	各学科ともに教育課程編成の構成図を学生に示したり、先修条件科目を設定するなど、体系的なカリキュラム編成となっている。				
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		4	3	2	1
評価理由	各学科ともに臨地実習（臨床実習）を設定し、目指す職種の実践的な教育が展開できる。また、キャリア教育については科目設定のほか、各学年で行う就職ガイダンスなどで実施している。				
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		4	3	2	1
評価理由	「職業実践専門課程」における教育課程編成委員会の企業委員選任の対応は行っていない。臨地実習施設の指導者等との連携を行っているがカリキュラムの見直しにはかかわっていない。				
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか		4	3	2	1
評価理由	各学科ともに臨地実習（臨床実習）を設定し、CBTやOSCEに該当する試験はないものの、先修条件を設定するなどして十分な知識をもって実習できるようにしている。				
・授業評価の実施・評価体制はあるか		4	3	2	1
評価理由	全学科で授業評価を実施している。				
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		4	3	2	1
評価理由	学科によって対応は異なるが、臨地実習の評価は実習施設の指導者の評価を基礎にしている。臨地実習に関するアンケートや会議なども実施しており、外部関係者の意見を取り入れている。				
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4	3	2	1
評価理由	各基準ともに、学則、シラバス、学習評価に関する細則で明確になっている。				
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		4	3	2	1
評価理由	開設している殆どの科目がそれぞれの国家資格取得に関する科目である。				
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		4	3	2	1
評価理由	一部の学科で指定規則に定める教員が確保できていない。教員要件については「北里大学保健衛生専門学院教員選考に関する申合せ」に基づき選考しているため全ての教員で要件を備えていると判断する。				
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか		4	3	2	1
評価理由	専任教員については、いわゆる実務家教員を中心に採用を行っている。非常勤教員については、実習病院の職員に依頼する等の対応を行っている。				

・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		4	3	2	1
評価理由	教員の研究、研修、自己研鑽のための予算措置は行っており、特にカリキュラム改正に伴う関連分野における研修会等には積極的に参加し資質向上に努めている。				
・職員の能力開発のための研修等が行われているか		4	3	2	1
評価理由	毎年度、法人全体で階層別研修を実施していたがコロナ禍により計画が実行できなかった。一方自己啓発のための研修システム（通信教育、e-ラーニング）も準備されているが必ずしも十分とは言えない。				

①課題

教職員の能力開発のための研修や、さらなる資質向上のための取組が必要である。

②今後の改善方策

教職員の研修や自己啓発への取組をより強化、推進する。

③特記事項

指定規則の改正に伴い、2022年度入学者より臨床検査技師養成科、保健看護科において新カリキュラムを導入した。

④意見・助言（学校関係者評価）

◇現在高等学校の現場では、校内通信ネットワークの整備を行い、生徒1人1台タブレットの情報端末を配備してICTを取り入れた新たな教育をスタートさせている。教育現場へのICT活用は新しい挑戦であるが一方で様々な課題も出ている。想像力や思考力、読み書きの能力の低下が懸念されるので、高大連携をお願いし、より効果的な教育手法を模索できればと考えている。

◇教職員のさらなる資質向上のために、今後も研修会や自己啓発の機会を積極的に活用していただきたい。

◇指定規則に定める教員数が未充足とのことだが、教育の資質向上のためにも非常勤教員や北里大学の支援や協力を得ながらご対応願いたい。

(4) 学修成果

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか		4	3	2	1
評価理由	2023年4月末現在で管理栄養科、保健看護科で就職率100%、臨床検査技師養成科、臨床工学専攻科はそれぞれ未内定者が2名おり、就職活動を継続している。				
・資格取得率の向上が図られているか		4	3	2	1
評価理由	受験資格を有する5種国家試験のうち、臨床工学技士は100%、臨床検査技師は全国平均以上であったが、管理栄養士、看護師、保健師は全国平均を下回った。				
・退学率の低減が図られているか		4	3	2	1
評価理由	退学率2%未満を目標に取り組んできたが、7.8%と悪化している。退学理由として顕著なのが学業不振や進路変更である。				
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		4	3	2	1
評価理由	卒業生の社会的な活躍や評価は、学会及び同窓会等からの情報源により出来る限り把握している。卒業生全員を把握するには現状至っていない。				
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		4	3	2	1
評価理由	就職支援の一貫として毎年度卒業生を本学院に招き、在学生に自身の経験や職業観を直接伝える機会を設けており、教育活動の検証に役立っている。さらに就職先に対する本学卒業生の現況調査等が実施できれば教育活動の改善にも繋がると考えるが、実施には至っていない。				

①課題

退学率について、「低学年次生に対する教育の見直し及び学生支援体制の強化による退学率削減への取組」を重点事業として2018年度から3年計画で行った結果、退学率が2018年度：6.0%、2019年度：5.7%、2020年度：3.2%と段階的に減少傾向が見られたが、2021年度：7.9%、2022年度：7.8%となり、目標の2.0%未満を達成できなかった。学科により退学率が異なることから、引き続き検証と対応策を検討していく。

②今後の改善方策

退学率低減への取組については、これまでの効果検証と改善に加え、①1・2年次学生への支援（医療従事者を目指す意識づけ、入学前教育の実質化、学習支援・個別指導・補習講義の実施等）、②学生カウンセラー・教員・事務職員間の連携強化、③北里大学健康管理センターとの協力体制の促進を基本としながら、学生の状況に応じた臨機の対応を行い、学院全体で退学率の低減に取り組む。

③特記事項

就職率：臨床検査技師養成科94.3%、管理栄養科100.0%、保健看護科100.0%、臨床工学専攻科92.9%
 国家試験合格率：臨床検査技師90.6%、管理栄養士84.0%、保健師86.1%、看護師94.5%、臨床工学技士100%
 退学率：臨床検査技師養成科8.5%、管理栄養科14.4%、保健看護科5.1%、臨床工学専攻科3.5%

④意見・助言（学校関係者評価）

特になし

(5) 学生支援

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか		4 3 2 1
評価理由	就職委員会を中心とした学院内の支援だけでなく、北里大学就職センター、外部企業のキャリアカウンセラー等とも連携して支援している。	
・学生相談に関する体制は整備されているか		4 3 2 1
評価理由	学生相談室にカウンセラー2名を配置して十分な体制を整備している。	
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか		4 3 2 1
評価理由	日本学生支援機構奨学金の他、各自治体による奨学金、北里大学の奨学金が利用できる。また、コロナ対応として学生食堂利用券を配布し経済的な支援を実施した。	
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか		4 3 2 1
評価理由	保健室、学校医を中心とした体制の他、学校保健委員会、北里大学健康管理センターとの連携など、組織体制は整備されている。	
・課外活動に対する支援体制は整備されているか		4 3 2 1
評価理由	学生の自治組織である「北里会」を組織するとともに、学院やPPAからも支援する体制が整備されているが、2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動自体を極力制限せざるを得なかった。	
・学生の生活環境への支援は行われているか		4 3 2 1
評価理由	ひとり暮らしの学生の多くは「北里アパート組合」のアパートに入居している。学院と北里アパート組合の連携は十分である。学生の福利厚生施設「北里ガーデン（学生食堂・売店）」の運営費の支援も行っている。	
・保護者と適切に連携しているか		4 3 2 1
評価理由	年2回の保護者会〔PPA総会（5月）、PPA懇談会（9月）〕は新型コロナウイルス感染防止対策のため、やむを得ず総会は書面開催、懇談会は開催中止としたが、学生の修学状況等については、各学科で必要に応じて保護者と個別に連絡や面談の機会を設けるなど、逐次状況を共有している。	
・卒業生への支援体制はあるか		4 3 2 1
評価理由	国家試験不合格者への再受験サポートをはじめ、同窓会組織とも連携して卒業生の就職活動の支援を行っている。	
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか		4 3 2 1
評価理由	新潟県立小出高校にある「医療専攻」の学校見学に協力し、成果発表会に出席し意見を述べるなどの対応を行っている。	

①課題

精神的に不安や悩みを多く抱えている学生の早期発見と対策

②今後の改善方策

学生カウンセラー、教員（学科長及び担任）、事務室（保健室）間でケアが必要な学生の心身の健康状態を随時把握し、より連携体制を強化する。

③特記事項

2023年度保健室・学生相談室事業目標

○学生の心身の健康増進に関する支援

①保健室・学生相談室の連携

②緊急支援体制の見直し・強化

③「こころの健康調査」におけるハイリスク者の早期発見・対応

④各教員との情報交換の場の設定

④意見・助言（学校関係者評価）

◇現在高等学校ではいじめの問題への対策が重要課題として検討されている。いじめを早期に発見することが、事態を深刻化させる前にその芽を摘むという点からも特に重要である。学校・家庭・地域がそれぞれ生徒の小さな変化に気付く力を高め、生徒が安心して相談できる環境を整える必要がある。また、いじめの防止や教育環境に悪影響を及ぼすスクールハラスメントの実態について、保護者にもアンケート調査を実施しているところである。学院におかれても学生生活を心身ともに健康で送れるよう今後とも学生相談室（カウンセラー）等との連携を深めていただければと思う。

(6) 教育環境

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか		4	3	2	1
評価理由	各指定規則に基づく施設設備、機器備品は整備している。加えて教育研究に必要な機器備品も年次計画により毎年度整備している。				
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか		4	3	2	1
評価理由	各臨地実習施設と連携して十分な教育体制を整備している。				
・防災に対する体制は整備されているか		4	3	2	1
評価理由	防災委員会、自衛消防隊を整備して組織的に防災対策を行っている。定期的な防災訓練を実施するとともに、防災備蓄品の整備も進めている。				

①課題

機器備品の一部において経年劣化による動作不良が生じている。今後の教育に影響を与えないように計画的に機器の入れ替えを行う必要がある。

②今後の改善方策

教育上必要な機械器具等を計画的に更新する。

③特記事項

防災・減災について、防災委員会、自衛消防隊を整備して組織的に防災対策を行っている。年2回定期的に防災訓練を実施するとともに、計画的な防災備蓄品の整備を進めている。

④意見・助言（学校関係者評価）

◇地震等の災害が発生した時に、学生や教職員が慌てることなく適切に行動がとれるよう定期的に避難訓練を実施されている。災害は夜間や休日等に発生する場合もあり、その際の学生対応はもとより、特に一人暮らしをしている学生の保護者等への安否連絡なども考慮いただければと思う。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか		4	3	2	1
評価理由	例年高等学校延べ約700校を訪問し各種情報提供を実施していたが、ここ3年にわたり新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から訪問数を最小限に留めている。(2022年度訪問数：91校)				
・学生募集活動は、適正に行われているか		4	3	2	1
評価理由	志願者、入学者は減少しているが、学生募集活動、入学者選抜はおおむね適正に実施されている。				
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		4	3	2	1
評価理由	学生募集に利用するパンフレットに国家試験合格率、就職率、就職先などの情報を掲載しており、受験希望者に周知している。				
・学納金は妥当なものとなっているか		4	3	2	1
評価理由	毎年度、全学の学費等検討委員会において様々な側面から現行の学費を検証し、その結果を法人理事会において承認、決定している。				

①課題

--

②今後の改善方策

--

③特記事項

法人理事会（2022年10月開催）において、2024年度より臨床検査技師養成科、管理栄養科、保健看護科、2027年度より臨床工学専攻科の学生募集を停止することが決議された。

④意見・助言（学校関係者評価）

◇「本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」の中で「志願者・入学者確保と入学定員厳守への取組」への達成度目標が高すぎるように感じる。現状に見合った実質的な目標を設定すべきと思う。

◇北里大学健康科学部の設置が計画されているが、専門学校とは異なる大学としての特色を十分に打ち出して、今後も優れた医療従事者の養成教育を一層期待したい。

(8) 財務

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		4	3	2	1
評価理由	学生数の大幅な減少に伴い厳しい経営状況が見込まれる。				
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		4	3	2	1
評価理由	予算・収支計画は、各学科・委員会等の事業計画に基づきヒアリングを実施した上で編成しているが、2023年度当初予算は支出超過、2022年度決算においても同様に支出超過が見込まれる。				
・財務について会計監査が適正に行われているか		4	3	2	1
評価理由	法人の規則に沿って適正に実施されている。				
・財務情報公開の体制整備はできているか		4	3	2	1
評価理由	ホームページ上に公開されている。				

①課題

在学生の減少傾向が継続しており、2022年度決算は支出超過となる見通しである。

②今後の改善方策

2024年度以降学生募集を停止する状況下では収支の改善を図ることは困難だが、極力冗費を抑制することで学生教育の質向上のために予算を重点配分したい。

③特記事項

④意見・助言（学校関係者評価）

特になし

(9) 法令等の遵守

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか		4	3	2	1
評価理由	一部の学科で指定規則に定める教員の確保ができていない。				
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか		4	3	2	1
評価理由	北里大学における個人情報の保護に関する基本規程に則って対策を講じている。				
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか		4	3	2	1
評価理由	事業業績報告書や各学科で行う自己点検評価において「点検・評価及び将来の改善に向けた方策」を検討しており、問題点の改善に向けた各種対応を行っている。				
・ 自己評価結果を公開しているか		4	3	2	1
評価理由	学校法人が行う事業業績、学院が行う自己評価結果、学校関係者評価結果をホームページで公表している。				

①課題

一部の学科で教員の欠員が発生している。

②今後の改善方策

③特記事項

④意見・助言（学校関係者評価）

特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		適切… 4、ほぼ適切… 3 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		4	3	2	1
評価理由	南魚沼市、JAをはじめとした周辺団体からの要請に可能な限り応えており、一定程度の成果をあげている。				
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		4	3	2	1
評価理由	学院周辺で開催されるスポーツイベント（グルメマラソン・グルメライド）のボランティア活動を奨励、支援している。また、2022年度は魚沼基幹病院の防災訓練にボランティア参加した。				
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか		4	3	2	1
評価理由	例年広報委員会による公開講座や一部の学科主催の講演会を実施し、一定の成果をあげているが、2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず十分な活動が出来なかった。				

①課題

地域貢献、学生ボランティア、公開講座等による地域貢献など、一定の成果を上げているが改善の余地がある。
しかしながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、公開講座や学園祭は教職員及び在学生のみの参加に限定されたため、社会・地域貢献が十分に行えなかった。

②今後の改善方策

南魚沼市やJAをはじめとする周辺団体からの各種要請に応じ、防災訓練やスポーツイベント（グルメマラソン・グルメライド）等のボランティア活動により積極的に参加する。

③特記事項

18歳人口の減少、人口減少・地方衰退といった社会情勢の中で、高等教育機関として新潟県や魚沼地域に貢献できる学校を目指している。

④意見・助言（学校関係者評価）

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本評価表の各評価項目に記載のとおり、日常的な教育活動及び学生支援等は概ね良好であると評価できる。保健衛生専門学院としては2024年度より学生募集を停止することが決定されたが、閉校に至るまで北里大学並びに北里研究所と連携しながら学生教育の質向上に努め、優秀な医療人材を多数輩出することで、引き続き地域に貢献する。